

10. 建物被害

10.1 建物被害の概要

本節においては、新潟県の地震被害報告（新潟県中越地震災害対策本部報道発表資料、第 68 報、平成 16 年 11 月 27 日 9：00 現在）等にもとづいて建物被害の概要を報告する。

この資料は市町村から報告されたものを新潟県がまとめたものであるが、長岡市の住家被害については調査中の暫定値であり、大規模半壊、半壊の区別はされていない。また小千谷市については住家全壊・半壊・一部損壊の区別は調査中の暫定値であり、非住家の一部も含まれている。

住家被害の総数は、87,033 棟で、被害世帯数は 87,282 世帯である。その内訳は、

- ・全壊 2,699 棟、2,701 世帯、21 市町村
 - ・大規模半壊 579 棟、582 世帯、17 市町村
 - ・半壊 6,069 棟、6,119 世帯、28 市町村
 - ・一部損壊 77,686 棟、77,860 世帯、39 市町村
- である。

全壊棟数の多いのは、長岡市 856 棟、小千谷市 662 棟、川口町 570 棟である。大規模半壊は川口町の 110 棟が最大である。半壊は長岡市の 2,541 棟、小千谷市の 918 棟が多い。一部損壊家屋は、長岡市 37,557 棟、見附市 11,005 棟、小千谷市 10,000 棟、十日町市 7,000 棟が多い。なお、被害認定進捗状況の把握が遅れている地域もある（長岡市 50%他）ので、今後被害数が増える可能性がある。

一方、非住家被害には公共施設とその他が含まれており、その総数は 27,675 棟（50 市町村）である。非住家被害の多いのは、見附市 10,427 棟、長岡市 7,812 棟、川西町 1,989 棟、川口町 1,538 棟などである。

公共施設のうち教育関係については、平成 16 年 11 月 12 日現在の被害状況が教育委員会から「平成 16 年新潟県中越地震（教育委員会所管施設の被害状況）」²⁾として報告されている。公立学校等の被害は、全 56 市町村で 315 校あり、その内訳は、大規模被害 29 校、中規模被害 37 校、軽微な被害 249 校である。社会教育施設は、全 27 市町村で 47 館が被災し、大規模被害 9、中規模被害 17、軽微な被害 21 となっている。国指定文化財の被害は計 17、県指定文化財の被害は計 10 である。

県立病院の被害については、新潟県病院局の 10 月 28 日午後 5 時現在（17 報）³⁾発表によると、全 15 病院で人的被害はなく、物的被害が 7 病院において発生した。

新潟県総合政策部の平成 16 年 11 月 5 日発表の

速報によると、平成 21 年国体使用予定施設の被害は、全 88 施設中 16 施設に何らかの被害が見られる。

【付録 1】 10.1 節執筆者

富田昭宏（金沢工業大学）

編集者

宮島昌克（金沢大学）

【付録 2】 参考資料

- 1) 新潟県中越地震災害対策本部「平成 16 年新潟中越地震による被害状況について（第 68 報）」
- 2) 教育委員会「平成 16 年新潟県中越地震（教育委員会所管施設の被害状況）」
- 3) 新潟県病院局「平成 16 年新潟県中越地震 県立病院地震被害一覧」